

令和8年度鳥取県内の海水浴場のサメ対策等について

市町村	対象海水浴場	防護ネットについて	サメ出現時の監視体制	通常時の監視員等数
岩美町	東浜海水浴場	①防護ネット設置しない ②サメ出現時、遊泳禁止とする	水上バイクによるパトロール	監視員1名/(毎日)
	牧谷海水浴場	①設置日 サメ出現時に設置 ②ネットの仕様 総延長1,000m ③設置方法アンカーによる固定		監視員2名/(平日) 監視員3名/(休日・盆期間)
	浦富海水浴場			監視員5名/(毎日)
鳥取市	鳥取砂丘海水浴場	その時の状況で設置する。	水上バイクによるパトロールの強化	監視員を常時1名以上配置
	賀露みなと海水浴場	設置しない	監視所よりマイクおよびハンドマイクで海水浴客に緊急連絡する 遊泳を禁止する 漁業組合に協力要請する	監視員2名/日
	白兎海水浴場	サメ出現時に防護ネットを延長200m程度設置	放送による周知 海上保安署、警察等へ連絡	監視員2名/日
	小沢見海水浴場	設置しない	遊泳を禁止する 海水浴場のスピーカーにてアナウンス マリンバイクを利用して遊泳者へ連絡	平日監視員1名～2名/日 土日2名/日
湯梨浜町	ハワイ海水浴場	①設置日 サメ出現時に設置 ②ネットの仕様 総延長約150m ③設置方法 浮きで固定	監視員による監視強化 放送設備、電話による連絡・通報	監視員1名/日
米子市	皆生温泉海遊ビーチ (旧:皆生温泉海水浴場)	①設置日 サメ出現時に設置 ②ネットの仕様 50m×4mネット ③設置方法 人力(ライフセーバー)	水上バイクによる監視体制の強化	平日 ライフセーバー3名/日 土日祝日盆 ライフセーバー3名以上/日